

**令和4年度**

**刈谷市組織重点目標（実績・成果）**

# 目 次

---

---

企画財政部 .....	4
総務部 .....	6
生活安全部 .....	8
市民活動部 .....	10
福祉健康部 .....	12
次世代育成部 .....	15
産業環境部 .....	17
建設部 .....	18
都市政策部 .....	20
水資源部 .....	23
教育部 .....	26

## 令和4年度組織重点目標（実績・成果）

---

---

## 企画財政部 令和4年度組織重点目標（実績・成果）

### (1) 市民から信頼され、満足度の高いサービスを提供する市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
適切かつ効果的な行政経営に努めます。	①新たなまちづくりの指針となる第8次総合計画の策定に向けた取組を推進します。	企画政策課	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合計画素案の作成</li> <li>総合計画審議会の開催 審議会 4回 3分科会 各3回</li> <li>パブリックコメントの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合計画審議会とパブリックコメントを経て、多様な意見を集約し、刈谷市が目指すべき将来都市像を示すことができた。</li> </ul>
効果的かつ効率的な行政経営に努め、市民サービスの充実を図ります。	①市公式のスマホ向けアプリにより、さまざまな情報を発信するサービスを提供します。 ②新しい情報技術の活用を図り、迅速で的確な行政サービスの提供と業務の効率化を推進します。	広報広聴課 情報政策課	<ul style="list-style-type: none"> <li>ダウンロード数 24,234件</li> <li>市が保有する公園や避難所などの地理情報を載せた15種類のマップをweb上で閲覧できる市民公開型GIS（かりマップ）を導入</li> <li>DXを推進するための行動計画（アクションプラン）を策定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アプリの積極的なPRにより、利用者が増加した。</li> <li>刈谷市内外を問わず多くの人に対し、積極的に情報発信をすることができた。</li> <li>本システムを通じて、速やかに必要な地理情報等を取得することが可能となり、質の高い市民サービスの提供につながった。</li> </ul>
業務における法令順守を徹底します。	①情報セキュリティリスクに対し、情報資産の適正管理を推進し、情報セキュリティの更なる強化を図ります。	情報政策課	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報セキュリティ監査及び自己点検の実施 内部監査 4課 自己点検 全課等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報セキュリティ監査及び自己点検を実施し、情報セキュリティ水準の向上につながった。</li> </ul>

### (2) 次代を支える健全財政を維持した市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
健全財政の堅持と行政運営の透明性の確保に努めます。	①新型コロナウイルス感染症拡大等の影響を的確に見通すことができない中、行政サービスの質を維持しながら、必要な財源を確保します。また、公共施設維持保全計画について、工事の優先順位を十分に精査しコスト削減や費用の平準化を図ります。 ②公共施設等の維持管理・更新の総合的な管理を推進する中で、建物の維持保全計画を遂行します。	財務課 施設保全課 施設保全課	<ul style="list-style-type: none"> <li>補正予算及び当初予算編成を実施 一般会計補正予算編成回数 10回</li> <li>工事の優先順位を精査</li> <li>基金の活用</li> <li>劣化度状況等に係る現地調査実施施設数 30施設</li> <li>構造体耐久性調査実施施設数 10棟</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国県補助金・交付金、基金、市債などを財源として、物価高騰対策など、補正予算による適正な対応及び当初予算編成の実施により、行政サービスの質の維持及び必要な財源を確保することができた。</li> <li>工事の優先順位を精査するとともに、基金を活用するなど財源の負担軽減を図ることができた。</li> <li>劣化状況等を的確に把握し、適切な改修等を行うことにより長寿命化を図ることができた。</li> </ul>

(3) 市民から期待される先進的な市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
産学官連携による先進的な施策の推進により持続可能なまちづくりを目指します。	①スマートシティに向けた取組を推進します。	企画政策課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートシティ推進協議会の設立</li> <li>・スマートシティ構想の策定</li> <li>・実証実験の実施 5件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートシティ推進協議会の設立により参画企業等が増加し、様々な先進技術を持つ企業等の意見を踏まえ、スマートシティ構想を策定した。また、民間企業等との協働の下、先端技術等を活用した実証実験を実施した。</li> </ul>
本市の活力・魅力につながる施策を推進します。	①公式SNS等を活用し、積極的に刈谷市をPRします。	広報広聴課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公式SNS等のフォロワー数 20,186人</li> <li>・公式YouTubeチャンネル登録者数 1,860人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・LINEやInstagramなどを通じ、フォロワーへ本市の魅力を発信した。</li> <li>・キャラクターへの愛着を持ってもらうことで、市の魅力のアピールにつながった。</li> </ul>
快適で利便性の高い環境を整備し、持続可能なまちづくりを推進します。	①災害復旧の迅速化などに資する地籍調査を実施します。 ②公共施設の照明機器のLED化を促進することにより、環境負荷及び維持管理経費の軽減を図ります。	財務課  施設保全課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小垣江西部1地区進捗率約40%</li> <li>・公共施設の照明機器のLED化 11施設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度内の調査完了に向け、目標の達成に必要な各工程を着実に実施した。</li> <li>・公共施設の照明機器のLED化を促進することで、環境負荷及び維持管理経費の軽減に寄与することができた。</li> </ul>

## 総務部 令和4年度組織重点目標（実績・成果）

### (1) 市民から信頼され、満足度の高いサービスを提供する市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
災害、犯罪等から市民の安全を確保します。	①火災や地震発生時に来庁者や職員の安全を確保するための消防等訓練を実施します。 ②暴漢等の脅威から来庁者や職員の安全を確保するための防犯講習を実施します。	総務文書課 総務文書課	・避難訓練の実施 ・救急救命講習の実施 2回 31人  ・防犯講習の実施 1回 85人	・想定した出火場所付近の消防設備等を作動させるなど、実践的な避難訓練を実施するとともに、消防署員による心肺蘇生の方法などの救急救命講習を実施した。  ・現役警察官を講師に招き、警杖等の防犯器具を使用し、実践的な講習を実施した。
市民への情報提供等により、行政運営の透明性の確保に努めます。	①税制改正等の情報を適切な時期に提供します。 ②市税納付方法（口座振替、コンビニ収納、スマートフォン決済）やオンライン納税相談等の情報提供を実施します。 ③第三者により入札、契約制度の審議を行い、公平性、透明性を確保します。	税務課 納税課 契約検査課	・情報提供回数 38回 Web（ホームページ等） 23回 市民だより 15回  ・情報提供回数 49回 ホームページ更新 3回 市民だより 24回 キャッチ地域情報 11回 あいかり 11回  ・入札監視委員会 開催数 3回 ・総合評価審査委員会 開催数 1回	・ホームページ及び市民だよりを積極的に活用することにより、必要な情報を適切かつ分かりやすい形で、市民に提供することができた。  ・納期のお知らせや口座振替、スマートフォン決済に関する記事を掲載して納期内納付を促し、収納率向上に努めた。ホームページ上のQ&Aを充実し、利用者にとってわかりやすい情報提供に努めた。  ・第三者が参加する入札監視委員会及び総合評価審査委員会を開催し、入札、契約制度の公平性、透明性の向上に努めることができた。 ・総合評価審査委員会において、総合評価落札方式における評価項目の追加・見直しを社会情勢に合わせて行った。
市民に分かりやすく、正確な申告ができる環境を整えます。	①市県民税申告書をWEBサイト上で作成するシステムを提供します。	税務課	・システムにより作成された申告書の提出件数 29件	・時間や場所を問わず、パソコンやスマホから市県民税額を試算し、申告書を作成することができる環境を整えた。

### (2) 次代を支える健全財政を維持した市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
経費の削減に努め、公平な市税の賦課徴収を行います。	①税関係の情報交換会議により部署間連携の強化及び対応スピードの向上を図ります。	税務課	・情報交換会議の実施 3回	・納税課、国保年金課との情報交換により、業務の効率化及び情報共有を図り、適正な賦課を行った。

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
経費の削減に努め、公平な市税の賦課徴収を行います。	②口座振替、スマートフォン決済の勧奨や、電話、文書による納付催告、自宅訪問などを行い、収納率の向上を図ります。	納税課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現年度分収納率 99.5%</li> <li>・滞納繰越分収納率 30.1%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電話、文書による納付催告、自宅訪問など適切な滞納整理により、滞納の早期解消に努めた。</li> <li>・コロナ禍や物価上昇が頻発する状況の中で、納税者の生活に配慮しながら、適切な滞納整理に努めた。</li> </ul>

### (3) 市民から期待される先進的な市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
行政事務の効率化及び市民サービスの向上を図ります。	①職員向けの業務改善制度を実施し、業務改善を推進します。	総務文書課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務改善件数 完了 62件 継続実施 11件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市全体で取り組むべき課題や職員提案、過去の改善を参考とした業務改善に全部署で取り組み、行政事務の効率化及び市民サービスの向上に努めた。</li> </ul>
	②令和5年4月の地方税共通納税システムの対象税目拡大に伴い、必須税目に加え任意税目のキャッシュレス化の推進と、納付手段の多様化を図ります。 【必須税目】 ・固定資産税・都市計画税 ・軽自動車税種別割 【任意税目】 ・個人住民税（普通徴収） ・国民健康保険税（普通徴収）	税務課 納税課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合税システムの改修</li> <li>・税収納システムの改修</li> <li>・滞納整理システムの改修</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年4月の地方税共通納税システムの対象税目拡大に対応するため、関係システムを改修し、クレジットカード払いをはじめ、キャッシュレス化を推進した。</li> </ul>

### (4) 市民参加、協働で問題解決を図る市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
男女共同参画社会の実現に努めます。	①附属機関等への女性委員の参加を促進します。	総務文書課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性委員の割合 32.2%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各課等へのヒアリングにおいて選出母体となる団体への協力の依頼等を促し、女性委員の参加促進に努めた。</li> </ul>

### (6) 創造性豊かで、柔軟な発想と行動ができる職員を育てる市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
職員の意欲を高め、創造力を発揮しやすい環境づくりに努めます。	①ワーク・ライフ・バランスを推進し、働きやすい職場環境づくりを推進します。	人事課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年次休暇の平均取得日数 令和4年度 14.7日 (令和3年度 14.9日)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全職員向けにワーク・ライフ・バランスの推進とともに、年次休暇の取得を呼びかける通知を发出し、取得促進に寄与した。</li> </ul>
	②不要な業務の廃止など効率的な働き方を推進することで、長時間労働を是正します。	人事課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設定した時間外勤務の上限を超えない所属数の割合 令和4年度 81.2% (令和3年度 80.0%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各部署において特定の係や職員に負荷が集中しないよう業務分担を分散するなど、時間外勤務の平準化及び縮減を図り、長時間労働の是正に努めた。</li> </ul>

## 生活安全部 令和4年度組織重点目標（実績・成果）

(1) 市民から信頼され、満足度の高いサービスを提供する市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
防災体制の構築を進めます。	①地域の防災活動を支援し、地域防災体制の充実強化を図ります。	危機管理課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区の実績に応じた自主防災組織体制の育成強化</li> <li>・自主防災会の防災活動への支援 20地区</li> <li>・自主防災推進会議の開催 2回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主防災会の防災訓練等の支援を行うことで、自主防災会の育成を図ることができた。</li> <li>・自主防災会へ補助金を交付し、資器材の配備等を支援することで防災力の強化を図ることができた。</li> <li>・自主防災推進会議の開催により、自主防災会同士の横の連携を深め、市全体として地域防災力の強化を図ることができた。</li> </ul>
	②消防団の防災活動を支援し、消防力の強化を図ります。	危機管理課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防団ポンプ自動車及び資器材等の適正な維持管理</li> <li>・消防団災害活動時の自動車保険への加入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防団ポンプ車のタイヤ交換を実施した。また、資器材等についても適正な維持管理ができ、消防力の強化を図ることができた。</li> <li>・消防団災害活動時の自動車保険に加入し消防力の強化を図ることができた。</li> </ul>
	③災害時に迅速に対応できる体制の整備を図ります。	危機管理課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員を対象とした情報伝達等訓練の実施 2回</li> <li>・拠点倉庫から避難所への物資輸送に関する訓練の実施 4回</li> <li>・地域内輸送拠点から避難所への物資輸送に関するマニュアルの策定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メール返信訓練の実施により、災害時の職員の情報伝達手段等を確認することができた。</li> <li>・円滑な備蓄物資の輸送を想定した訓練を行うことで、災害対応業務の手順等を確認し、役割を明確にすることができた。</li> <li>・物資関係班と調整し、地域内輸送拠点マニュアルを策定した。</li> </ul>
	④市民の防災意識の高揚を図るとともに、避難支援設備の整備を図ります。	危機管理課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災講演会の開催 1回</li> <li>・避難所へのマンホールトイレの整備 工事2箇所</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災講演会の開催により、市民の防災意識の高揚を図ることができた。</li> <li>・マンホールトイレの整備により、災害時のトイレ不足解消及び衛生的なトイレ環境を確保することができた。</li> </ul>



組織目標	取組内容	課等	実績	成果
新型コロナウイルス感染症の対策体制の構築を進めます。	①新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じた対応方針を協議します。	危機管理課	・新型コロナウイルス感染症対策本部本部員会議の開催 20回	・適宜会議を開催し、対応を協議することで、感染状況や国・県の措置に応じた市の方針を決定することができた。
安心安全に暮らせるまちづくりを進めます。	①地域の犯罪及び交通事故抑止のため設備を整備します。	くらし安心課	・防犯灯の設置 40基 ・街頭防犯カメラ設置 23基 ・横断歩道照明の設置 12基	・市民の防犯及び交通安全に対する意識を高めることができた。
	②防犯・交通安全意識の高場に努めます。	くらし安心課	・警察と連携し、商業施設などで防犯及び交通安全に関する啓発活動を実施 ・交通安全教室の開催 148回	・地域犯罪の抑止につなげることができた。
	③市民相談体制の充実	くらし安心課	・税務相談実施回数 48回→72回に拡充 ・オンライン相談予約 1回（相談実績 0回）	・相談実施回数を拡充し、利便性の向上を図ることができた。

(4) 市民参加、協働で問題解決を図る市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
市民と行政が連携協働した災害への備えを推進します。	①地域の自主防災組織等で活躍できる人材育成を進めます。	危機管理課	・災害ボランティアコーディネーター養成講座 修了者 25人 ・防災リーダーフォローアップ講座の開催 1回	・講座の実施により、地域で防災活動を行う人材の育成を図るとともに、新たな知識を習得する機会を創出することができた。

## 市民活動部 令和4年度組織重点目標（実績・成果）

(1) 市民から信頼され、満足度の高いサービスを提供する市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
マイナンバーカードの円滑な交付を推進します。	①交付体制を充実します。	市民課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土曜日等閉庁時における交付窓口の開設 土曜日 23回 4,045人 時間外 55回 (1回18枠)</li> <li>・交付予約・管理システムの導入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・閉庁時の交付窓口開設により、5千人以上の交付を行うことができた。</li> <li>・交付予約・管理システムの導入により、閉庁時及び電話以外での予約手段を市民へ提供することができた。</li> </ul>
	②取得の促進に向け、申請しやすい環境を創出します。	市民課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・申請受付専用窓口の設置 申請時来庁 2,002人 交付時来庁 6,540人</li> <li>・出張申請受付の実施 42回 1,762人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・申請受付専用窓口の設置により、カード申請希望者への支援を常時可能にすることができた。</li> <li>・商業施設、公共施設、依頼企業等に出張することにより、カード未取得者に対して申請意欲を高め、また申請支援を行うことができた。</li> </ul>
窓口サービスを通じ、市民の満足度を高めま	①市民が、より利用しやすい窓口サービスを提供します。	市民課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おくやみ窓口の開設 令和4年7月1日開設 利用実績365件 (令和4年7月～令和5年3月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・死亡届の提出後に発生する故人に関する必要な手続を1か所で行えるようにすることで、市民の負担を軽減し、市民サービスを向上することができた。</li> </ul>

(3) 市民から期待される先進的な市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
市民が安心して観光イベント、企画展に参加できる環境づくりを推進します。	①ウィズコロナを意識した観光事業の支援を図ります。	文化観光課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光協会と感染防止を徹底した安全なイベントを開催 3回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光協会に国や県のガイドラインに沿った感染対策を徹底するよう指導し、桜まつり、わんさか祭り、刈谷アニメcollectionを安全に開催することができた。</li> </ul>
	②適切な新型コロナウイルス感染症感染対策を行い事業を実施します。	文化観光課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企画展で参加者の検温を実施 歴史博物館 実施回数 3回 企画展入場者数 8,533人 美術館 実施回数 2回 企画展入場者数 46,384人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心・安全を確保し、当初の計画通り企画展を実施できた。</li> <li>※年間入館者数(企画展含) 歴史博物館 30,154人 郷土資料館 8,414人 美術館 94,407人</li> </ul>

(4) 市民参加、協働で問題解決を図る市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
性別にかかわらず全ての人々が支えあえるまちづくりを推進します。	①日本女性会議の後継イベントを実施し、市民の男女共同参画に対する意識啓発を図ります。	市民協働課	・ミライク刈谷2022の実施 参加者数 パネルディスカッション 307人 映画祭 444人 各種講座 142人	・ミライク刈谷2022を実施し、参加者及び関係者の男女共同参画意識啓発を図ることができた。
国際化・多文化共生を推進します。	①共生の地域づくりを支援します。	市民協働課	・小垣江地区において、外国人と日本人が共に活動するための検討会議及び多文化共生イベントの開催 会議 10回 イベント 1回	・検討会議や多文化共生イベントを通じて、地域の日本人や外国人の多文化共生への理解を促進することができた。
市民や関係団体と連携して、地方創生を推進します。	①文化財保護団体や文化芸術団体、教育機関等と連携しながら、各種施策を推進します。	文化観光課	・団体と連携する事業数 5事業  ・文化振興基本計画の中間見直し時に団体ヒアリング実施 28団体	・各団体と連携を図り、市民が文化芸術に触れる機会を提供することができた。  ・団体ヒアリングを実施し、結果を文化振興基本計画計画改訂版に反映することができた。

## 福祉健康部 令和4年度組織重点目標（実績・成果）

(1) 市民から信頼され、満足度の高いサービスを提供する市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
感染症拡大防止対策を図ります。	①新型コロナウイルスワクチンの住民接種を子育て支援課と連携し、実施します。 ②新型コロナウイルス感染症感染防止対策の周知、啓発を図ります。	健康推進課 健康推進課	・令和4年度総接種回数(延べ) 129,898回  ・市ホームページを随時更新 ・事業所等へメール配信 153事業所	・希望する市民に安全かつ円滑にワクチン接種を実施できた。  ・感染症拡大防止対策等について、事業所、市ホームページを通じ、情報の速やかな周知を実施できた。
障害者、高齢者が地域で安心して暮らすことのできる環境づくりを目指します。	①障害者の生活を地域全体で支える地域生活支援拠点等の安定運営及び機能充実に向けた協議を行います。 ②すぎな作業所を利用者や市民に親しみやすい障害福祉施設として整備します。 ③住民主体の介護予防活動を支援します。 ④認知症の人やその家族を支える環境づくりを推進します。	福祉総務課 福祉総務課 長寿課 長寿課	・検討部会の開催 4回 ・相談支援事業所への説明 6事業所  ・実施設計の実施  ・地域リハビリ活動支援事業利用団体 3団体 ・地域サロン活動等補助事業登録団体 23団体 ・介護予防ポイント事業登録者数(はつらつサポーター) 31人  ・行方不明高齢者等SOSネットワーク登録者数 128人 ・認知症初期集中支援チームによるケア支援件数 23件 ・認知症サポーター養成講座延べ参加者数 11,046人	・グループホームの体験利用の手法の改善や、人材育成のための研修実施体制を整備するとともに、拠点の運営評価方法を確立した。  ・定員拡大等機能強化及び省エネによりエネルギー消費量を大幅に削減する建物(ZEB化)の検討を行い、実施設計を完了した。  ・住民主体の介護予防活動を推進するため、介護予防活動支援事業利用団体の運営を支援した。 ・新型コロナウイルスの感染拡大により、地域リハビリ活動支援事業については活動自粛期間が長引いたこと、介護予防ポイント事業については主な活動場所である介護施設が受け入れを自粛したため、目標を下回った。  ・認知症の人や家族を支えるために、SOSネットワークを用いた見守り体制や認知症の初期段階の方を医療に繋ぐ認知症初期集中支援チームの活動の周知、認知症サポーター養成講座において、認知症に関する正しい知識を広く普及させる取り組みを行い、認知症の方が安心して暮らし続けることができる地域づくりにつなげることができた。
生活困窮者の自立に向けての支援を行います。	①生活保護受給者に対し、自立支援を行います。 ②生活困窮者の自立支援を行います。	生活福祉課 生活福祉課	・支援者数 40人 ・就労者数 38人  ・就労支援による就職率 76%	・生活保護受給者に対し就労支援を行い、自立の促進を図ることができた。  ・生活困窮者に寄り添った対応を行い、自立の促進を図ることができた。

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
市民の健康づくりを支援します。	①総合健康センター内「げんきプラザ」のサテライト施設を北部地区に開設し、安心安全で効果的な運動ができる場所を提供することで、市民の健康増進を図ります。	健康推進課	・北部生涯学習センター内学習情報コーナーの改修工事を実施、令和5年4月に洲原げんきプラザを開設	・身近な地域で安心安全に運動が実践できる施設を開設することができた。

(2) 次代を支える健全財政を維持した市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
保険制度の適正な運営に努めます。	①介護人材の確保及び専門性の高い人材の育成を推進します。	長寿課	<ul style="list-style-type: none"> <li>主任介護支援専門員研修の資格取得制度利用者数 9人</li> <li>介護に関する入門的研修の受講人数 20人</li> <li>介護職員初任者研修の資格取得制度利用者数 10人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第8期計画における重点施策として介護人材の育成支援を掲げており、研修制度のより一層の活用に向け周知を行った。</li> <li>令和4年度より初任者研修については、個人向けの補助制度を新たに設けるとともに、既存の事業者向けの制度についても、事業者の負担割合を問わず補助できるようにするなど、事業所や利用者の声を聴き、より活用しやすいように補助制度の見直しを図った。</li> </ul>
	②ジェネリック医薬品の利用を推進します。	国保年金課	・ジェネリック医薬品利用率 73.3%	・ジェネリック医薬品への切り替えにより一定の自己負担額軽減が見込まれる国民健康保険被保険者に対し、ジェネリック医薬品利用差額通知書を送付し啓発することにより、医療費の増加抑制につなげることができた。
	③レセプト等の点検を強化します。	国保年金課	・柔道整復等療養費支給申請書の点検を実施	・柔道整復等療養費支給申請書の内容点検を全件実施することで過誤請求を減らし、医療費の適正化を図ることができた。
	④後期高齢者医療保険料の収納率向上を図るため、高齢者に合わせたきめ細やかな対応をします。	国保年金課	・普通徴収の収納率 99%	・電話催告や訪問等を行い、制度を説明し理解いただいたうえで納付に繋げ、高い収納率を維持することができた。

(4) 市民参加、協働で問題解決を図る市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
<p>地域の課題解決のために、市民や企業、各種団体などとの連携を推進します。</p>	<p>① 刈谷市障害者自立支援協議会の開催により、障害者を支援するための施策を協議します。</p>	<p>福祉総務課</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会の開催 2回</li> <li>・部会の開催 14回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会や部会を開催することにより、支援機関の連携向上など障害者施策の連携を図ることができた。</li> </ul>
	<p>② 高齢者の見守り及び安否確認体制の充実を図ります。</p>	<p>長寿課</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協定締結事業者数 54事業者（76事業所）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幅広い業態の事業者に協定締結を呼びかけ、高齢者見守り体制の拡充につなげることができた。</li> </ul>
	<p>③ ICTを利用した、在宅医療・介護連携を推進します。</p>	<p>長寿課</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「えんjoyネット刈谷」患者登録者数 311人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTを活用した情報共有システム「えんjoyネット刈谷」の利用促進を図ったことで、地域の医療・介護関係者間の情報共有を支援した。</li> </ul>

## 次世代育成部 令和4年度組織重点目標（実績・成果）

(1) 市民から信頼され、満足度の高いサービスを提供する市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
関係機関と連携し子育て支援施策の充実を図ります。	①見守りが必要な児童の早期発見と適正な支援のため、要保護者対策地域協議会の会議を開催します。	子育て推進課	・実務者会議の開催回数 12回 ・ケース検討会議の開催回数 5回	・関係機関の連携強化により、見守りが必要な児童の早期発見と適正な支援に繋げることができた。
	②ひとり親家庭の養育費の確保を支援します。	子育て推進課	・養育費確保支援制度の周知・啓発 ・公正証書等作成促進給付金支給件数 15件	・給付金の支給により、ひとり親家庭の養育費の確保を支援することができた。
子どもを安心して生み育てることができるよう、きめ細やかなサービスの提供に努めます。	①放課後児童クラブでの祝日開設を行います。	子育て推進課	・令和4年9月より一部クラブ（6クラブ）を拠点とし、祝日開設を実施	・祝日開設を開始することで、地域特性および利用者のニーズに合わせたサービスの提供を行うことができた。
	②夢と学びの科学体験館において未就園児と保護者を対象にしたイベントを充実させます。	子育て推進課	・ちびっこプラネタリウム開催回数 28回 観覧者数 1,487人 ・クリスマスCDコンサート開催回数 8回 観覧者数 530人	・コンサートの内容を未就学児向けにわかりやすくし、感染対策として人数制限を設けて実施回数を増やしたことにより、観覧者数を増やすことができた。
	③保護者の育児負担の軽減等を図るため、産後ケア事業を推進します。	子育て支援課	・産後ケア利用者 宿泊型：24人 （延べ93人） 日帰り型：33人 （延べ69人）	・出産後の母親の心身のケアや保健指導を行うことで、安心して子育てができるよう支援することができた。
	④多胎児養育家庭等の育児負担の軽減を図るため、健診時に育児支援を行うサポーターを派遣します。	子育て支援課	・健診サポーター派遣回数 109回	・健診サポーターの利用範囲を拡充することで、多くの保護者に利用してもらうことができた。
	⑤しげはら園に通う園児等の自立に向けて、一人ひとりの発達に適した支援を行うとともに、保護者の支援を行います。	子育て支援課	・保護者向けの研修会、個別相談会、言語相談、保育所等訪問支援回数 108回	・保護者のニーズに合わせ、研修会や個別相談会を開催し、保護者支援を充実することができた。 ・保育所等訪問支援を実施し、児童や保護者、スタッフに対して指導・助言を行った。
	⑥子育て世代の利便性を高めるため、ICT化・デジタル化を推進します。	子ども課	・入園及び一時保育のオンライン申込の導入	・入園及び一時保育のオンライン申込を導入したことにより、保護者の利便性向上を図ることができた。
	⑦公立保育園4園（富士松北・日高・双葉・慈友）の乳児園への移行により0～2歳児の受入人数を増加し、待機児童ゼロの維持に努めます。	子ども課	・令和5年4月時点の待機児童数 0人（継続）	・令和5年4月時点においても、引き続き待機児童数ゼロを維持することができた。
感染防止対策を講じる。	①新型コロナウイルスワクチンの住民接種を健康推進課と連携し、実施します。	子育て支援課	・令和4年度総接種回数 延べ129,898回	・希望する市民に安全かつ円滑にワクチン接種を実施できた。

(3) 市民から期待される先進的な市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
子育て家庭が安心安全な生活を送ることができるよう支援します。	①子育て中の母親の孤立を防ぎ、心の安定を図るため、家庭に訪問員を派遣します。また事業の適切な運営を図るため、アセスメント会議を開催します。	子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて訪問員を派遣 延べ158回</li> <li>・アセスメント会議開催回数 24回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民ボランティアの訪問員を派遣することで、子育て中の母親の悩み、不安の解消を図ることができた。</li> <li>・アセスメント会議を定期的に行い、事例検討や支援方法の検討を行うことで、要支援家庭に対する適切な支援計画を作成することができた。</li> </ul>
	②子育て支援センターを始め、子育て世帯の身近な施設に子育てコンシェルジュを配置し、子育て世帯が多様な子育て支援事業の中から適切な事業を選択できるよう支援します。	子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てコンシェルジュの相談等対応件数 1,789件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てコンシェルジュを身近な施設に配置することで、気軽に相談できる体制を整え、最適な子育て支援サービスの提供につながった。</li> </ul>

(6) 創造性豊かで、柔軟な発想と行動ができる職員を育てる市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
職員の確保・資質の向上を目指します。	①放課後児童支援員及び補助員の資質向上を図ります。	子育て推進課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会の開催回数 2回（接遇研修及び支援技術向上研修）</li> <li>・有識者による巡回指導研修 4クラブ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会等の実施により、支援員及び補助員の資質向上につながった。</li> </ul>
	②保育教諭の研修や研究を積極的に実施し、資質向上を図ります。	子ども課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修参加延べ人数 1,368人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育に関する内容を学び、保育士・教諭の資質向上につながった。</li> </ul>
	③保育教諭の人材確保のため、就職セミナーに参加するとともに、大学訪問をしてPRを行います。また、潜在保育士・教諭の現場復帰のための支援を行い、人材確保に努めます。	子ども課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職セミナーへの参加及び養成校である大学への訪問回数 5回</li> <li>・復職支援研修開催回数 3回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セミナー参加者及び訪問大学の学生から18人を採用することができた。</li> <li>・復職支援研修の実施に加え、適宜潜在保育士・教諭からの相談に対応するなど、復職の支援を行うことができた。</li> </ul>



## 産業環境部 令和4年度組織重点目標（実績・成果）

### (1) 市民から信頼され、満足度の高いサービスを提供する市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
事業者ニーズや社会的ニーズを的確に把握し、中小企業等の振興を図ります。	①産業イノベーションを推進します。	商工業振興課	<ul style="list-style-type: none"> <li>人材育成、次世代育成プロジェクトの実施 C o D o もの T e c h 29人 N o w かりや 12人 サステナビリティアクションプロジェクト 33人 未来創造たまご塾 46人</li> <li>コワーキングスペースの整備 利用者数 延べ1,695人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種プログラムを展開することで、協業や共創によるイノベーション創出の推進に向けた機運を醸成することができた。</li> </ul>

### (2) 次代を支える健全財政を維持した市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
健全財政を維持するため、財源の確保に努めます。	①産業の高度化、高付加価値化に向け、企業集積を高め、拠点性がある工業団地の早期整備に努めます。	企業立地推進室	<ul style="list-style-type: none"> <li>依佐美2期開発について企業庁の第2回用地造成審査会要件の整理</li> <li>地権者同意（金入）の取得</li> <li>企業用地需要把握 40ha以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>依佐美2期開発について企業庁と第2回用地造成審査会開催について、調整を図った。</li> <li>地権者同意（金入）取得率 93.9%</li> <li>企業用地需要把握 用地需要 42.9ha</li> </ul>

### (3) 市民から期待される先進的な市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
将来の市民ニーズや社会的ニーズを予見し、積極的に対応します。	①持続可能な地域農業の実現のため、相談対応や補助金交付等の支援により、中心的担い手及び新規就農者の確保と育成を図ります。	農政課	<ul style="list-style-type: none"> <li>認定農業者の新規認定 2経営体</li> <li>新規就農支援制度の利用 2経営体</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>相談対応の実施や関係機関との連携等により、担い手を確保することができた。</li> </ul>
生活環境が良好に保たれ、環境負荷の少ない持続可能なまちづくりを推進します。	<p>①都市や産業の活力を維持・発展させながら、環境と調和した低炭素な環境都市の実現を目的とした「環境都市アクションプラン」の取り組みを推進します。</p> <p>②SDGsが掲げる持続可能で近代的なエネルギーの確保、地産地消による地域振興及び脱炭素化を図る取り組みを推進します。</p>	環境推進課	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境都市アクションプラン推進会議の開催 3回</li> <li>二酸化炭素削減目標（2030年度に2013年度比26%削減）の達成に向けた施策の管理、削減状況の把握</li> <li>地域新電力会社の設立</li> <li>再生可能エネルギーの拡大に向けた調査・研究</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「環境都市アクションプラン」の進捗管理及び二酸化炭素削減状況を把握するとともに、改定に向けた骨子をまとめることができた。</li> <li>エネルギーの地産地消を図り、地域振興及び脱炭素化を推進するため、地域新電力会社「刈谷知立みらい電力株式会社」を設立した。</li> <li>再生可能エネルギーの拡大に向け、ため池などでの太陽光発電設備の導入に向けた研究を行った。</li> </ul>
3Rを推進します。	①ペットボトルを含むプラスチックごみの分別収集・再商品化を推進します。	ごみ減量推進課	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペットボトルの「ボトルt o ボトル」リサイクルの実施</li> <li>プラスチック使用製品の再商品化ルートの検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ボトルt o ボトル」リサイクルの協定締結により、二酸化炭素排出量の抑制を図った。</li> <li>リサイクル業者から情報を収集し、検討した。</li> </ul>

## 建設部 令和4年度組織重点目標（実績・成果）

(1) 市民から信頼され、満足度の高いサービスを提供する市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
安心・安全で快適な生活空間づくりを推進します。	①歩行者が安心して通行できる歩行空間を整備します。	道路建設課	・市道の歩道設置、改良 2路線	・歩行者が安心して通行できる歩行空間の整備を行うことができた。
	②渋滞解消のための道路整備を推進します。	道路建設課	・市道の新設改良 2路線	・渋滞解消のための道路整備を推進することができた。
	③健全な道路の維持・保全に努めます。	土木管理課	・道路維持管理支援システムの導入 1件	・情報の収集、共有及びその対策を迅速にし、安全で円滑な交通を確保することができた。
	④事業推進に向け、不動産の取得、処分、貸借及び交換に努めます。	用地対策課	・不動産評価審議会への諮問 4回	・審議会を通じて、適正な価格を決定し、事業用地の取得等、事業を推進することができた。
災害に強いまちづくりを推進します。	①大規模地震が発生した時に、物資の輸送ルートを確認するため電線類の地中化を推進します。	道路建設課	・無電柱化推進 1路線	・電線類の地中化を推進することにより、物資の輸送ルートや歩行空間の確保することができた。
	②住宅等の地震対策の普及に努め、耐震改修を促進します。	建築課	・木造住宅等耐震改修補助件数 39件 ・ブロック塀撤去補助件数 40件 ・耐震啓発ローラー作戦等の実施 2回 ・防災まちづくり協議会へ耐震改修等補助制度について啓発を実施 1回	・コロナの影響で開催の制限があったものの、予定していた周知活動を実施することができ、木造住宅耐震改修、取壊し補助の申請につながることができた。
	③市民の集まる機会を生かした地震対策の啓発を行います。	建築課	・総合防災訓練などでの耐震改修工法の紹介 5回	・コロナの影響で開催の制限があったものの、総合防災訓練をはじめ5回の啓発活動ができた。

(2) 次代を支える健全財政を維持した市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
健全財政を維持するため、多角的な財源確保に努め、計画的に事業を推進します。	①国庫補助・県費補助を積極的に活用します。	土木管理課 道路建設課 建築課	・補助事業採択件数 15件	・関連機関と協議した結果、国庫補助・県費補助事業として採択された。
	②橋りょう長寿命化計画に基づいた維持保全を図ります。	土木管理課	・橋りょう点検 72橋 ・橋りょう補修 5橋	・橋りょうを健全な状態に保ち、安全で円滑な交通を確保することができた。

(3) 市民から期待される先進的な市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
将来に向けた刈谷市の交通環境の整備を図ります。	①国及び県に対する要望活動を行い、名古屋三河道路等の幹線道路の整備を促進します。	道路建設課	・要望会の実施 11回	・要望会を実施し、各事業の重要度、事業の必要性を説明し、事業を促進することができた。

(4) 市民参加、協働で問題解決を図る市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
ボランティア制度の確立を図ります。	①各自治会と連携し、地区清掃を実施します。	土木管理課	・側溝清掃の実施地区 23地区	・各自治会と連携し、23地区で地区清掃を実施することができた。
	②地区防災会等との連携や市民の集まる機会を生かし、無料耐震診断、耐震改修の実施の啓発を行います。	建築課	・地区団体等との連携による耐震啓発の実施 2回	・地区団体との連携を取りながら啓発活動を行い、事業推進をすることができた。

## 都市政策部 令和4年度組織重点目標（実績・成果）

### (1) 市民から信頼され、満足度の高いサービスを提供する市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
安全安心で快適な生活空間づくりを推進します。	①土地区画整理事業を推進し、良好な住環境を整備します。	市街地整備課	・小垣江駅東部 物件移転交渉 2件 ・野田北部 物件移転交渉 2件	・合意形成に向けて交渉を重ねることができた。
民間活力の導入により、市民サービスの向上に努めます。	①指定管理者制度を活用し、公園施設を生かしたイベントや教室を開催します。 ②指定管理者制度を活用し、刈谷駅北地区地域交流施設を生かしたイベントを開催します。	公園緑地課 まちづくり推進課	・イベント回数 30回 ・教室参加人数 2,468人  ・イベント回数 17回	・民間のノウハウを生かしたイベントや教室を開催し、市民の満足度を高めるサービスの提供を行った。  ・刈谷駅周辺のまちのにぎわいの創出と地域の連携及び交流の促進が図られた。

### (2) 次代を支える健全財政を維持した市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
多角的な財源確保に努め、計画的に事業を推進します。	①かりまる（公共施設連絡バス）に広告の掲載や、バス車内のサイネージ等による広告収入を確保します。 ②社会資本整備総合交付金等の活用に努めます。 ③公園施設長寿命化計画に基づき、施設の更新・修繕を計画的に行います。	都市交通課 まちづくり推進課 都市交通課 公園緑地課  公園緑地課	・広告掲載件数 105件  ・交付金等活用件数 8件  ・施設更新する公園数 8公園 ・施設修繕する公園数 28公園	・継続的な広告収入を確保することができた。  ・交付金を活用し、財源負担の軽減を図りつつ各種事業を実施することができた。  ・公園の安全性、美観性が向上し、市民の憩いの場として、安心・安全で快適な都市公園を提供することができた。

### (3) 市民から期待される先進的な市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
やすらぎと潤いのある良好な住環境を整備し、持続可能なまちづくりを推進します。	①本市の魅力発信する5つの公園を対象に、市民意見を反映し、魅力あふれる公園となるよう将来構想を策定します。 ②近隣公園にウォーキングコースや健康遊具を設置し、市民の健康的な生活を確保する。	公園緑地課  公園緑地課	・市民意見を反映した将来構想の策定 ・策定委員会の開催 2回 ・市民公園づくり会議の開催 4回 ・パブリックコメントの実施 ・出張アンケートの実施  ・日高公園にウォーキングコースと健康遊具を設置	・有識者などで構成する構想策定委員会において、意見を聴取するとともに、地域の方をはじめ、様々な市民の方々から構成する市民公園づくり会議を開催するなど、多様な意見を取り入れながら構想を策定することができた。  ・従来の子どもの遊び場としての利用だけでなく、健康づくりの場として活用することが可能となった。

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
<p>やすらぎと潤いのある良好な住環境を整備し、持続可能なまちづくりを推進します。</p>	③空家等対策計画に基づき、空家等の適切な管理及び活用の促進に関する施策を推進します。	まちづくり推進課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空家等対策セミナー、相談会の開催 1回</li> <li>・老朽空き家除却費補助件数 4件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家対策セミナー、相談会を開催し、空き家課題や発生を防ぐ解決策などを周知できた。</li> <li>・空き家除却が促進され、住環境の改善が図られた。</li> </ul>
	④本市の都市計画に関する基本的な方針を定めるため、2032年を目標年次とした第4次刈谷市都市計画マスタープランを策定します。	まちづくり推進課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画マスタープランの策定 策定委員会の開催 2回</li> <li>・関係部署との調整会議の開催 2回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第4次刈谷市都市計画マスタープランを策定し、まちづくりの方針を定めることができた。</li> </ul>
	⑤市内への定住の促進と活発な産業活動を支えるため、拡大市街地の実現に取り組めます。	市街地整備課 まちづくり推進課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関等との調整 10回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小垣江町北部地区で地区との調整により、地区の意向を確認することができた。</li> <li>・依佐美地区の地区計画素案を作成し、事業推進を図ることができた。</li> </ul>
	⑥刈谷駅周辺における民間再開発の促進とともに、一体的な市街地整備の推進を図ります。	市街地整備課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関等との調整会議の開催 16回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・権利者との調整を重ね1街区にて民間再開発が事業化されるとともに、愛知県や庁内関係部署との打合せを行い、刈谷駅周辺の事業進捗状況の情報共有を図ることができた。</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・再開発に関する重点地区の意向確認 14回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重点的に調査した結果、1街区にて事業検討に着手することになり、権利者の意識醸成を図ることができた。</li> </ul>
		まちづくり推進課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適正な土地利用の誘導に向けた関係機関等との調整会議の開催 6回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用途地域の変更や地区計画を策定し、民間活力を活用した共同化による土地の高度・有効利用の誘導が図られた。</li> </ul>
	⑦刈谷市駅周辺における民間再開発の促進とともに、一体的な市街地整備の推進を図ります。	市街地整備課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関等との調整会議の開催 26回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元組織との調整を重ね、1街区にて民間再開発が事業化されるとともに、他の街区での事業化に向けた検討を進めることができた。</li> </ul>
	⑧刈谷駅周辺における公共空間活用の調査検討に取り組めます。	まちづくり推進課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・官民連携による公共空間の活用に向けた関係団体等との調整 10回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係団体等との調整により課題や方向性を整理することができた。</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・刈谷駅前線を活用した実証実験の実施 5回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりの担い手の育成と公共空間の活用が図れた。</li> </ul>
⑨子育て世帯が安心して生活できるよう、世代間で助け合える三世帯同居等を支援し、本市への定住促進を図ります。	まちづくり推進課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三世帯同居等住宅取得等支援補助件数 43件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅メーカー等へ補助制度が広く周知されたことで、住宅取得等の促進が図られ、子育て世代の定住促進に寄与できた。</li> </ul>	

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
将来に向けた刈谷市の交通環境の整備を図ります。	①本市が目指す将来都市像の実現に向けた総合交通体系の展開を図ります。	都市交通課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車活用推進計画の策定 策定委員会の開催 2回 関係部署との調整会議の開催 2回</li> <li>・総合交通体系に関する協議 都市交通協議会の開催 1回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車活用推進計画を策定し、自転車活用に向けた基本方針と取組を示すことができた。</li> <li>・道路計画、公共交通、自転車、徒歩などの様々な移動に関する内容について意見交換を行った。</li> </ul>
	② J R 刈谷駅の安全性確保、利便性の向上を図ります。	都市交通課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ J R 刈谷駅改良に対する J R 東海への補助</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下り線ホーム拡幅と駅舎拡張について、事業の進捗を図ることができた。</li> </ul>
	③市民の移動の利便性を向上するために、公共施設連絡バス「かりまる」を含めた公共交通体系の見直しを検討します。	都市交通課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域公共交通計画策定に向けた検討 公共交通専門部会の開催 2回 関係部署との調整会議の開催 2回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各会議において検討を進め、計画の基本方針と公共交通ネットワークの素案をまとめることができた。</li> </ul>

(4) 市民参加、協働で問題解決を図る市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
まちづくり施策の推進において、住民意思の反映機会を拡充します。	①まちづくりワークショップや勉強会等への市民参加を促します。	まちづくり推進課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークショップ等への市民参加人数 113人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりの担い手の発掘や育成、地域主体のまちづくり活動を促進することができた。</li> </ul>
	②公共施設連絡バス「かりまる」を含めた公共交通の利便性向上のため、市民参加による路線の見直しの検討などを行います。	都市交通課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通に関する意見交換会の実施回数 12回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通に関する意見交換会（ワークショップ）を各中学校区で実施し、市民やバス利用者等の意見を把握し、地域公共交通計画の素案に反映することができた。</li> </ul>
	③（仮称）北屋敷公園の整備計画を、地域住民の参加により策定します。	公園緑地課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークショップ等の活動回数 1回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民の意見を反映した整備計画を策定することができた。</li> </ul>

## 水資源部 令和4年度組織重点目標（実績・成果）

(1) 市民から信頼され、満足度の高いサービスを提供する市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
災害への備え及び災害発生時の対応力の向上を図ります。	①水道管の耐震化を進めます。	水道課	・重要給水施設(47施設)への管路耐震化 5箇所	・重要給水施設管路の耐震化を促進し、災害時への備えを強化することができた。
	②災害発生時における飲料水供給に備えます。	水道課	・施設管理委託業者と合同訓練の実施 2回  ・緊急時に使用する資機材の操作訓練の実施 2回	・災害時における機械操作及び連絡体制を再確認し、市職員は緊急時において適切な対応を図ることができた。  ・水道組合と合同で資機材の操作訓練を実施し、手順を再確認することができた。
	③災害に備えて下水道施設の早期復旧への対応力向上を図ります。	下水道課	・マンホールポンプ操作訓練の実施 1回	・非常時におけるマンホールポンプ操作の対応能力を向上させることができた。
	④浸水被害の解消を図るため、草野池護岸及び雨水排水施設を整備・改修します。	雨水対策課	・遮水矢板工 258m  ・排水ポンプ等の設備の更新 7箇所	・調整池と草野池の仕切として遮水矢板を設置した。  ・雨水排水設備において計画的に更新等を行い、排水ポンプ等の適切な維持管理に努めた。
	⑤災害に強いまちづくりを推進するため雨水貯留浸透施設設置補助事業の利用の促進を図ります。	下水道課 雨水対策課	・雨水貯留浸透施設設置補助件数 16件（雨水タンク3.6m <sup>3</sup> ）  ・市民等が利用しやすい補助制度とするため、改正に向けた検討の実施	・市民の協力により、雨水の貯留量が増加したことで、治水の安全度の向上を図ることができた。  ・全国の先進事例を調査・研究し、本市制度の課題等を把握し、今後の制度改正に向けた検討を行った。
	⑥基幹水防倉庫を増設し、あらゆる水害への水防力の向上を図ります。	雨水対策課	・基幹水防倉庫新設 2箇所	・計画通り基幹水防倉庫を2箇所新設し、水防力の向上を図った。

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
<p>安心・安全で快適な生活空間づくりを推進します。</p>	<p>①地域の实情に合わせて効率的に污水管を整備し、公共用水域の水質改善や保全を図ります。</p>	<p>下水道課</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・污水管整備 0.4km</li> <li>・官民連携事業の促進に向けた検討会への参加 3回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道（污水）の整備により、下水道を使用できる区域が増加した。</li> </ul>
	<p>②小中学生を対象とした下水道ポスターの募集と入賞作品の展示やマンホールカードの配布を通じて普及啓発を行います。</p>	<p>下水道課</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポスターコンクールの実施 1回  <ul style="list-style-type: none"> <li>応募者数 654人</li> <li>入賞作品の展示 6会場</li> </ul> </li> <li>・マンホールカードの配布 2,820枚</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポスターを描いたり見たりしてもらうことで、下水道の役割を考える機会を提供できた。</li> <li>・マンホールカードの配布によって、多くの人に下水道への関心を持ってもらうことができた。</li> </ul>
	<p>③市民の集まる機会を生かし、水道水の安全性や下水道の重要性、総合治水対策の啓発を行います。</p>	<p>水道課 下水道課 雨水対策課</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民に対する啓発活動 12回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わんさか祭りで多くの市民に対し、水道事業等についてPRすることが出来た。</li> <li>・出前講座で水道事業等について啓発することで、市民意識を向上させることができた。</li> <li>・市の安心・安全キャンペーンに関するイベントや地区の自主防災会にて、総合治水に関する啓発や取組みを説明することで、市民意識を向上させることができた。</li> </ul>
	<p>④公共下水道事業への理解を深めるとともに接続を促すため、戸別訪問などを実施します。</p>	<p>下水道課</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戸別訪問の実施 58軒</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道の仕組みや役割について個々に説明をすることで、下水道接続の促進をすることができた。</li> </ul>



(2) 次代を支える健全財政を維持した市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
公共料金等収納の向上や国・県の補助制度を積極的に活用することで財源の確保を図ります。	<p>①民間事業者による業務運営により、滞納者に対する戸別訪問などを実施することで収納率の向上に努めます。</p> <p>②納入期限の周知を図ることで受益者負担金の収納率の向上に努めます。</p> <p>③関連機関と協議し、補助制度を活用することにより安定的な事業運営を図ります。</p>	<p>水道課</p> <p>下水道課</p> <p>下水道課 雨水対策課</p>	<p>・滞納繰越分収納率 99.4%</p> <p>・負担金収納率 97.9%</p> <p>・補助活用件数 12件</p>	<p>・滞納者を早期に把握し、速やかに対応することで目標値を達成することができた。</p> <p>・納入期限の周知を図ることで負担金収納率の目標値を上回ることができた。</p> <p>・補助制度を活用し、下水道の整備や長寿命化などの事業を推進できた。</p> <p>・補助制度を活用し、準用河川草野川の改修や雨水排水施設などの整備や長寿命化などの事業を推進できた。</p>
将来にわたっての施設の適正な管理と、安定したサービスの提供を図ります。	<p>①ストックマネジメント計画に基づき、老朽化した污水管や雨水ポンプ場の改修を図り、下水道施設の延命化を図ります。</p> <p>②水道事業ビジョン及び経営戦略に基づき安定した水道水を供給するため、施設の老朽化対策を図ります。</p> <p>③下水道事業の新たな将来像と安定した下水道サービスを提供するための計画の策定を推進します。</p>	<p>下水道課 雨水対策課</p> <p>水道課</p> <p>下水道課</p>	<p>・管渠改修延長 0.7km</p> <p>・人孔蓋改修数 165箇所</p> <p>・管路点検延長 39km</p> <p>・排水ポンプ等の設備の更新（令和5年度完了予定）2箇所</p> <p>・老朽管対策延長 0.8km</p> <p>・老朽化施設更新 3箇所</p> <p>・下水道ビジョン及び経営戦略の策定</p>	<p>・工事発注の資料を作成し、長寿命化の計画を進めることができた。</p> <p>・令和5年度末の完了に向けて、予定した工程とおりの工事を行うことができた。</p> <p>・漏水発生路線での布設替え及び水道施設を更新することで、水道水の安定供給に寄与することができた。</p> <p>・策定委員会及びパブリックコメントにより広く意見を伺い、下水道ビジョン及び経営戦略を策定した。</p>

(6) 創造性豊かで、柔軟な発想と行動ができる職員を育てる市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
知識の向上と新たな技術・手法を積極的に活用できる経営感覚あふれる職員を育成します。	①自主的な研修参加を支援するとともに、国、県等の実施する研修会などに積極的に参加します。	<p>水道課</p> <p>下水道課 雨水対策課</p>	<p>・研修参加人数 69人</p>	<p>・Web研修についても積極的に参加し、今後の効果的かつ効率的な事業の推進に必要な知識と技能を習得することができた。</p>

## 教育部 令和4年度組織重点目標（実績・成果）

(1) 市民から信頼され、満足度の高いサービスを提供する市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
<p>学校生活における児童生徒の安心安全の確保に努めます。</p>	<p>① コロナ禍においても子どもたちが安心して学校生活を送ることができるよう支援します。</p>	<p>教育総務課 学校教育課</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スクール・サポート・スタッフを小中学校、特別支援学校に継続配置 22人</li> <li>・ 学習指導員を小中学校に継続配置 21人</li> <li>・ 家庭連絡・相談用携帯電話を小中学校、特別支援学校に継続配置 40台</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 感染症対策の消毒、清掃作業等に従事することで、教員の負担を軽減し、より一層子どもたちへの指導に専念することができた。</li> <li>・ コロナ禍においても子どもたちが安心して学校生活を送ることができた。</li> </ul>
	<p>② 不登校児童生徒の学校や学級への復帰を目指します。</p>	<p>学校教育課</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 通級者の学校復帰 14人</li> <li>・ 通級者のうち中学校3年生の進学率 100%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指導員による指導のもと、学習、集団生活の支援に取り組むことができた。</li> </ul>
	<p>③ 学校給食におけるアレルギー対応食の実施及び食物アレルギー対策の普及に努めます。</p>	<p>教育総務課 学校教育課</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スクール・ほっと・アシスタントを全中学校に継続配置</li> <li>・ 各中学校の不登校生徒は昨年度と同数、年間100日以上欠席生徒は2人増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スクール・ほっと・アシスタントの取組により、該当生徒が学校へ目を向ける姿が見られた。</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小中学校を対象に鶏卵アレルギー対応食を実施</li> <li>・ 幼稚園、小中学校を対象に飲用牛乳アレルギー対応食を実施</li> <li>・ 特別支援学校の形態食において、保護者と個別に相談を行い、アレルギー対応食を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鶏卵、牛乳を原因とする食物アレルギー事故が回避でき、アレルギーを持つ児童生徒にも給食を提供することができた。</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 食物アレルギーに対する知識の情報提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保護者及び教職員を対象に食物アレルギーに対する関心を高めることができた。</li> </ul>
<p>市民満足度の向上のため、生涯学習施策の充実を図ります。</p>	<p>① 市民休暇村のリニューアルを行い、市民の心身の健全な育成と余暇の活用を図り、より一層の魅力向上に努めます。</p>	<p>生涯学習課</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民休暇村 客室稼働率 88.1%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 老朽化した設備等の更新及び内装等のリニューアルを行い、施設の利用環境の向上を図ることができた。</li> </ul>
<p>安全快適にスポーツ活動に取り組むことができる環境を整備します。</p>	<p>① スポーツ施設の充実を推進します。</p>	<p>スポーツ課</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ウェーブスタジアム刈谷 便所等バリアフリー化、改修工事設計の実施</li> <li>・ ウィングアリーナ刈谷1階女子更衣室等空調設備改修工事の実施</li> <li>・ (仮称) 逢妻川河川敷運動広場測量設計の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予定した設計及び改修工事を完了しスポーツ環境の整備・充実を図ることができた。</li> </ul>

(3) 市民から期待される先進的な市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
より安心して学校生活を過ごせるよう教育環境の向上を目指します。	①学校施設や設備の改修を計画的に進めます。	教育総務課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改築工事の実施（富士松南小・体育館） 進捗率50%</li> <li>・小学校体育館空調設備設置工事の完了 富士松南小を除く14校</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予定した工程どおり体育館改築工事を計画的に進めることができました。</li> <li>・予定した小学校体育館空調設備設置工事を完了し、教育環境の向上及び避難所機能を強化することができました。</li> </ul>
ICT教育を推進し、児童生徒に、高度情報化社会に対応できる力を養います。	①情報教育アドバイザーを配置し、タブレット、電子黒板、大型提示装置の操作方法について各校に指導・助言を行い、授業で効果的に利用できるよう努めます。	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報教育アドバイザーの配置 3名</li> <li>・各校への年間を通じた訪問指導の実施 延べ180回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT機器の操作ができるようになり、授業で効果的に利用できました。</li> </ul>
郷土の偉人を通じて郷土愛を育成します。	①森三郎童話賞の全国募集をします。また、子ども部門として市内小中学生から森三郎童話の読書感想文、創作作文を募集します。	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国募集応募数 393作品</li> <li>・子ども部門応募数 2,443作品</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森三郎氏が刈谷を代表する文化人の一人であることを全国に発信するとともに次世代を担う子どもたちに伝えることができました。</li> </ul>

(4) 市民参加、協働で問題解決を図る市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
市民、地域、様々な団体等との協働による取組を推進します。	①地域の方々の参画を得て、学校及び地域が一体となって子どもを育む環境づくりと地域の活性化を図ります。	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域学校協働活動推進員をモデル校4校に配置</li> <li>・地域と学校が連携するための学校運営協議会を各校ごとに年3回開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域学校協働活動推進員が中心となって活動を呼びかけたことで、ボランティアが学校の教育活動に参加する機会が増え、教育活動が活性化した。</li> </ul>
	②中学校の部活動に外部指導者を雇用して、地域社会との連携と共に部活動の活性化を図ります。	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動に外部指導者を配置 27人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒に対し、専門的な技術指導を行い、教員の部活動指導における負担を減らすことができた。</li> </ul>
	③ホームタウンパートナーチームと連携した活動の検討・実施をします。	スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・刈谷キラキラ教室の開催 10回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パートナーチームとの協働により、小中学校の部活動や授業等を通じて、全国や世界で活躍する選手やチームと触れ合う機会を提供することができた。</li> </ul>